

様式B

令和7年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

教育目標 心豊かでたくましい子供を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
豊かな環境構成をめざして	子供の思いに寄りそった環境や援助のあり方について	『モノ』との関わりを 通して	四季折々の草花や生き物などを身近に感じらえる環境にする。 自ら進んで体を動かし、のびのびと遊べる環境にする。 自由な発想を楽しみ、表現できる環境にする。	土づくりをし、種をまいたり苗を植えたりして花や野菜を育てる体験を積み重ねてきた。また、野菜の生長を楽しみに水やりや草抜きなど世話をし、収穫し食べる喜びを味わうことができた。園庭で捕まえた生き物を飼育する中で、住みやすい環境を調べたり、命の大切さに気づいたり不思議に感じたりする機会となった。 子供たちが活動しやすい環境になるよう、砂場や芝生の手入れを頻繁に行った。また教師の目が行き届き、安全に遊べるように遊びの場や動線を考えた。遊具の置き場所・数等も見直し、自分のしたい遊びを存分に楽しめるようにしてきた。 安全面を考慮し室内での遊びの場を限定したが、子供達の現状を把握し、興味関心を探りながら、やりたいと思った時にすぐに取り組みめるよう環境を構成してきた。
		『ヒト』との関わりを 通して	してよいこと・悪いことがわかり、相手の気持ちに気づいていけるようにする。 自分の思いを表現し、人とのつながりの中で充実感や満足感を味わい、人と関わることの楽しさに気づいていけるようにする。 身近な人や地域の方との交流や関わりを大切にする。	園生活を送る中で、決まりや約束などがあることに気づき、守れるように援助してきた。友達との関わりの中で、相手の気持ちを代弁したり、一緒に考えたりして、相手の気持ちに気づけるようにしてきた。 異年齢と一緒に遊ぶ中で、思いやったり、刺激をもらったりする姿が見られた。また、一斉活動を通して、クラスの友達を感じる機会も大切にしてきた。複式クラスでも、各学年での活動の時間を設け発達年齢にあった取組を大事にしてきた。 喜楽会の方を招いて、一緒に昔遊びをしたり、歌や和太鼓等を見ていただいたり、ふれあい遊び等を通して交流を深めた。また、地域の消防分団を見学させていただいた。小学校との交流も頻繁にし、小学校に対して、憧れや期待をもつことができた。
		『コト』との関わりを 通して	夢中になって遊び、試したり工夫したり、時にはつまづいたりしながらも遊びを楽しめるようにする。 全職員で子供の成長を見守り、安心して園生活を楽しめるようにする。 保護者や地域の方々に幼稚園への理解を深めてもらい、共に協力しあって子供の成長を見守っていけるようにする。	自分でやり遂げたり、乗り越えたりする経験を積み重ねられるよう、十分な遊びの時間を確保してきた。やりたいことに夢中で取り組み、満足感や達成感を感じることができていた。 安全面を第1に考え、全職員で連携をとりながら、一人一人の子供を多面的に捉え、その子らしさを大切に、よりよい成長につながるようになってきた。子供の現状を話し合い、今何が必要なのか全職員で共通理解し、同じ援助ができるように心がけてきた。 園だよりやクラスだより、写真等で、子供たちの様子を知らせたり、毎日に降園時に保護者との対話を通して、信頼関係を築き連携が取れるようになってきた。地域の回覧板を活用したり、ホームページを更新したりして、幼稚園教育について発信するよう心がけた。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

保護者アンケートの結果から、全体的に肯定的な評価をいただいております。本園の教育内容や意図を理解いただけていることがうかがえる。全職員で一人一人を多面的に見取り、保護者と子供の成長や課題を共有しながら、同じ意識で子供を見守り信頼関係を築いてきた結果であると実感。今後も保護者・地域との連携を大切にしながら、保護者の方々に安心して預けていただけるよう、また、園の教育について理解を深めていただけるように、全職員一丸となって努めていきたい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

園内にある豊かな自然や環境を整備しながら、子供たちが主体的に遊び込めるように取り組んできた。午前中の2時間を園全体で自ら遊びを選んで自由に活動することで、子供たちは好きな遊びを夢中になって遊ぶことができ、満足感や達成感を味わうことができたと思われる。今の現状の子供の姿を大切にしながら、一人一人がどこにいても見守られているという安心感を得られるように寄りそってきた。職員間で環境や子供について同じ方向をで進んでいけるよう話し合いを心掛けてきたことで、子供たちの変化に気づき課題を共有することができた。今後も職員間で、保育観の共通理解に努め、子供達にとってよりよい環境や援助のあり方について探っていききたい。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

園内に様々な草花が育てられ、小学校と隣接して大きな木々にも囲まれ、子供たちが自然を感じながら過ごせるよい環境が整えられている。人数は、少なくなりつつあるが、子供たちが集団で学べるように環境を工夫して取り組んでいるところがよい。小学校との交流も増えていて、連携を大切にしてくれていて、地域の子供としてよりよく成長できることを期待できる。老人会(喜楽会)との交流会を園で行ったり、公民館へ行って行ったり、お互いに行き来して交流できているのはよかった。今後も地域との交流に取り組んで、関わりを大切にしていこうしてほしい。